

科目名	公衆衛生学 (Public Health)			科目コード	170
開講学科	看護学科・臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	看③④⑤、臨①③
担当教員	鳥居 順子、(未定) *、(未定) *、(未定) *				
授業概要	地域で生活するすべての人々の疾病を予防し、健康を保持増進することを目指す公衆衛生の理念を概説する。健康の概念、疾病予防・健康増進に必要な条件とそれを保障する社会的制度について概説する。(鳥居教授) 公衆衛生の理念、健康と生活や環境の関係性等の総論と産業保健分野、国際保健分野、保健医療制度を教授する。 ((未定) 非常勤講師) 保健予防活動の実際について、成人保健分野を教授する。 ((未定) 非常勤講師) 保健予防活動の実際について、老人保健、感染症分野を中心に教授する。 ((未定) 非常勤講師) 保健予防活動の実際について、母子保健、精神保健分野を教授する。 また、生活環境要因の健康影響について教授する。				
授業目標	公衆衛生の理念に基づき、健康の考え方、疾病予防や健康増進のための保健予防活動について理解する。また、環境保健の意義と実際を理解する。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	公衆衛生の意義	公衆衛生とは、公衆衛生の歴史 健康とは、疾病・障害とは、リスクとその評価	鳥居順子
2	健康と環境／社会と健康	物理・化学・生物学的環境要因と健康、社会的環境と健康、 ／疾病予防の3段階、集団アプローチ、(地域) 社会と健康	
3	産業保健 (1)	産業保健とは、産業保健活動の基礎	
4	産業保健 (2)	産業保健をめぐる最近の課題	
5	健康づくり／地域保健と保健行政	疾病予防と健康管理、栄養、ライフスタイル、健康日本21 ／地域保健活動と行政	(未定)
6	生活習慣病対策 (1)	生活習慣病とは、 メタボリックシンドロームと特定健診・特定保健指導	
7	生活習慣病対策 (2)	循環器疾患・がん・糖尿病の予防	
8	高齢者の保健・医療・介護	高齢者の生活と健康、高齢者の保健と医療、介護保険、 地域包括ケアシステム	(未定)
9	感染症対策 (1)	届出、検疫、予防接種	
10	感染症対策 (2)	結核、エイズ等	
11	精神保健 (1)	地域精神保健福祉対策、社会復帰対策	(未定)
12	精神保健 (2)	メンタルヘルス、ひきこもり、認知症等	
13	母子保健	保健指導、健康診査、健やか親子21	
14	環境保健／環境保全	上下水道、廃棄物、食品衛生／公害、地球環境	
15	国際保健／保健医療制度	国際化、世界の健康問題、国際協力／衛生行政、医療費、 社会保障、医療保障	鳥居順子
成績評価方法		鳥居担当分野 30% (受講態度 5% + 定期筆記試験 25%)、(未定) 非常勤講師担当分野 20%、 (未定) 非常勤講師担当分野 20%、(未定) 非常勤講師担当分野 30% (定期筆記試験のみ) と配点し、総得点で評価する。	
教科書		辻一郎・小山洋「シンプル衛生公衆衛生学2022」(南江堂)	
参考図書等		照屋浩司・川村堅「最新臨床検査講座 公衆衛生学」2022年版 (医歯薬出版) 「国民衛生の動向 2021/2022」(厚生労働統計協会) 荒賀直子・後閑容子「公衆衛生看護学.jp 第5版」(インターメディカル)	
授業時間外の学習について		各回で内容理解に積み残しが出ないように、関連科目での学習内容も含めて必要性に応じた復習を求める。	
関連科目		165～174 社会のしくみと健康 (専門基礎科目) のすべて(両学科共通と各学科独自) 231～236 地域看護学分野の科目 (看護学科)、 301～304 公衆衛生看護学分野の科目 (公衆衛生看護学等選択者) 451～454 食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格取得科目 (臨床検査学科)	
備考			